

## 国内初！廃食油の地産地消によるローカル SDGs を実現！

### 長崎県大村市から全国へ展開

ロードカル

# 『Roa(d)cal SDGs Project』発足！

廃食油の利活用により循環型社会を実現し、道路舗装業界のカーボンニュートラルを目指す

田中鉄工株式会社（本社：佐賀県）は、道路舗装業界のカーボンニュートラルを実現するにあたり、地域の家庭や飲食店等から発生した使用済み食用油（以下 廃食油）を、アスファルト合材の製造に使用する重油代替燃料として、その地域の誰もが利用する道路や歩道に還元するスキームを構築いたしました。

廃食油はその地域から発生する地産地消エネルギーとして、循環型社会の実現に貢献します。また、SOx・NOx や CO2 排出の削減等、様々な環境負荷軽減エネルギーとして、地球環境の保全に大きく貢献します。

この度、全国に先駆けて長崎県大村市にて、この地産地消型のローカル SDGs モデルが実現いたしました。県内・市内の様々なグリーンサプライチェーンが共創し、大村市の家庭や飲食店等から発生した廃食油が、大村市の道路舗装に使用されるアスファルト合材製造の燃料として、利活用されています。

そして、この取組を全国に展開していくにあたり、“Roa(d)cal SDGs Project” を発足いたしました。田中鉄工は、このプロジェクトを通じて、道路舗装業界のカーボンニュートラルを実現します。



本プロジェクトは、道路舗装業界としては初となる廃食油を利活用した地産地消型のローカル SDGs の取り組みを、地域を限定せず全国に広げていきたいという想いから生まれました。この想いが、「道路」を通じて繋がり、広がることをイメージし「road(道)」と「local(地域)」をかけた造語として「Roa(d)cal SDGs Project」と名付けました。

この Roa(d)cal SDGs プロジェクトの最初の取り組みが、長崎県大村市となります。今後は、北海道小樽市や福岡県宗像市など、全国の様々な地域での実施が決定しております。

#### ■大村市の Roa(d)cal SDGs モデルについて

長崎県大村市の家庭や飲食店で発生した廃食油が、大村市内の道路や歩道の舗装材料である、アスファルト合材の製造に使用する重油の代替燃料として利活用されています。廃食油を燃料としたアスファルト合材は、長崎合材センター共同企業体（日本道路株式会社・株式会社平山組・株式会社友建設により組成）で製造され、重油代替燃料として使用することで、工場から排出される CO2 が削減。さらに大村市で発生した廃食油を、その大村市で循環させることによる ローカル SDGs が実現いたしました。

地域の道路舗装会社（長崎合材センター共同企業体）、油脂会社（有限会社長崎油脂産業）、小売店（まるたか生鮮市場・イオン九州株式会社）、生協（生活協同組合ララコープ・グリーンコープ生協ながさき）等との共創と、大村市の広報×後方支援により、市民と一体となった廃食油リサイクルドミノが展開されています。この取組により、資源ごみ、化石燃料使用量、CO2、NOx、SOx の排出量の削減、及び下水道と環境への影響、資源の有効活用すべてに貢献することで、地域のローカル SDGs を実現するモデルとなります。

